Shelter

導入事例集

blue tec

ブルーテック株式会社

導入事例集目次

■『Shelter』とは？　・・・

『Shelter』とは？

オフィス用アプリケーションを誰でもノンプログラミングで自作できる業務効率化ツール

ブルーテック株式会社が提供する『Shelter』は、プログラムの知識を必要とせず、誰でも簡単にオフィス用アプリケーションが自作できる業務効率化ツールです。
自作したアプリケーションは、運用しながらカスタマイズしていくことも可能。

既成の業務用アプリケーションでは困難だった「自社の業務にぴったりフィットするアプリケーション」が、自社内で手軽に制作できます。

しかも何人で使っても毎月の利用料は固定。
支社や営業所、また社外のクライアントや提携業者とも無料で共有できます。

また『Shelter』で作成されたいくつかの業務用アプリケーションの中から
いくつかを選んですぐ利用できる「Shelter即効アプリシリーズ」も提供中です。

『Shelter』公式サイトはこちら

「Shelter即効アプリシリーズ」公式サイトはこちら

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

interview

導入事例インタビュー

山陽通信工業株式会社様

広島市に本社を構え、年間2,500件以上もの電機通信系工事を行なう同社。
当初は紙での情報管理が多く、効率や情報保存の課題を解消するべく2021年４月より『Shelter』を利用されています。
業務のデジタル化はどのように行なわれ、どんな成果を出したのか。
本稿では『Shelter』導入を決定された坂田代表と、工事の現場で日々『Shelter』を活用している畑様にお話を伺います。

代表取締役
坂田 俊様

工事課課長
畑 順也様

山陽通信工業株式会社

山陽通信工業株式会社

創立
1977年6月

事業内容
電気通信設備工事／セキュリティ設備

従業員数
25名

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

interview

原価管理・台帳管理・連絡にと幅広く利用中

―まずは、貴社の業務内容を教えてください。

坂田（以下敬称略）：

基本的には電機通信系をメインとしたハードウェアの設置やメンテナンスを行なっています。
「弱電」と呼ばれる、インターホンや構内放送設備、ナースコールなど、音声・通話分野の機器や、ネットワーク機器を取り扱うことが多いですね。
年間2500～3000件ほどの工事を行なっています。
今年で創立45周年で、元々は電話機の設置を行なう会社でしたが、時代の変遷とともに業務内容も少しずつ変わっていきました。

―現在、どのような業務で『Shelter』を使われていますか？

坂田:

主にプロジェクト管理や原価管理、月々の請求の管理…といった、社内の全体を見渡すような業務に使用しています。
それから、私は自分自身でアプリケーションを作ったり改良して、社員に『Shelter』の活用を勧めるような立場ですね。

畑:

私は現場の人間ですから、主に工事終了後の台帳の管理や、社員への連絡事項の伝達、各種提出書類の管理などに使っています。
『Shelter』には毎日、お世話になっています(笑)。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

interview

代替わりしたものの…「情報が見られない」

―『Shelter』の導入を検討しはじめたきっかけは何ですか？

坂田:

今、私が代表になって４期目です。
それまでは創業者である現会長が40年以上がんばってくれていたのですが、約４年前に代替わりということになりました。
私が代表になって、「じゃあ、社全体の業務内容やこれまでの詳細な業績を見てみよう」となった時に、見られなかったんですよ(笑)。
何もかもが紙で管理されていたこともあるし、記録されていない情報もある。
それでもなんとか仕事はしなければならないわけです。
私の大きな業務の１つである売上と原価の管理については、社内の関係者に用紙を配って必要な情報を記入し、提出してもらうことにしました。
ところがこれがみんなの業務的な負担になり、退社時刻がどんどん遅くなってしまったんです。
そんな紙をベースとした試行錯誤を繰り返していくうちに、「これは根本的にどうにかしなければならない」と考え、デジタル化を検討し始めたのがそもそものきっかけです。
最初は私自身の業務が進まないから、という個人的なきっかけなんです(笑)。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

interview

サポートの充実で『Shelter』に決定

―『Shelter』の導入を決定された決め手を教えてください。

坂田:

実は、他のとある類似サービスも検討していたんですね。ただ、そちらは私がやりたいことがうまくできなかったんです。
また、ユーザー数に応じて課金される仕組みで、なるべく大勢で使いたいと考えている弊社ではコスト面が負担となってしまいます。
そんな中、偶然『Shelter』のプロモーションを目にする機会があって、「こちらも似たようなサービスだから資料を取り寄せてみようか」と思い立ったわけです。
『Shelter』の決め手となったのは、機能的にやりたいことができたということもありますが、サポートのきめ細かさという点も大きいですね。
分からないことや、できること・できないこと、どうすれば希望どおりのものができるのか…など気軽に聞けて、すぐに答えてくれるフットワークのよさがありました。
安心して導入に踏み切れましたね。
もちろんユーザー数無制限で月額料金が固定のため、コスト面でも納得できました。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

interview

『Shelter』で業務の簡素化・見える化を実践

―貴社では特にどんな点に課題を感じていましたか？

坂田:

一言で言えば「見える化」がきちんとできていなかった点です。
予定の数値や目標が設定されたとして、それが本当に予定どおり処理されているのか、最終的にどのような結果になったのか…といった点を、全体的な１つの流れとして見たいというのが一番大きな課題でしたね。
『Shelter』導入後は、その点は大きく改善されました。

畑:

私は以前から業務のムダを省いて、簡素化したいと考えていたんです。
例えば大勢で記入する必要がある工事台帳も紙で、しかも１部しかなかったので、１人が書いたら次の人に回して…という書き方をしていました。
前の人が終わるまで自分の記入ができないし、今、台帳を誰が持っているのか分からないこともある。
『Shelter』導入後は業務がかなりシンプルになり、業務上のムダや不便はかなり減りました。
今は工事台帳はデータとしてサーバ上にありますから、いつでも自分が好きな時にＰＣで記入できますし、更新の履歴も残ります。
業務の効率化と時短が実現できていますね。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

interview

同時編集・優れた検索機能は『Shelter』ならでは

―そんな中、特に便利だと感じている『Shelter』の機能があれば教えてください。

畑:

まずは全員で同時にデータを編集できるところですね。
現在約25名という人数で使っているので、これは大変重宝しています。
紙はもちろんですが、表計算ソフトなどでも同時にデータを編集することは難しく、『Shelter』ならではの利点だと思っています。
閲覧権限も自由に制限できて、情報の保護という面でも安心です。
それから簡単で便利に使える検索機能にも助けられていますね。
紙の資料では検索はページをめくりながらの目視に頼ることになりますが、『Shelter』では様々な条件で検索や絞り込みが一瞬でできてしまいますからね。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

interview

今後はノウハウ蓄積や他社との連携強化にも

―将来的にやってみたい『Shelter』の使い方はありますか？

畑:

それはもう、たくさんあります。
仕入の管理とか、棚卸しに伴う在庫の管理、スケジュール管理など…。
それからデータの管理だけでなく、例えば工事のノウハウを知恵袋のように『Shelter』に保管しておくような使い方をしてみるのも面白いと思っています。
まだ100％使いこなせているとは思いませんが、それでもあれこれ使い道が思い浮かぶのが『Shelter』の良いところかもしれません。

坂田:

現在は社内の業務にしか使っていませんが、弊社は外部の業者さんとのやりとりも多いので、将来的には他社とのやりとりにも『Shelter』を活用できればと私は考えています。
例えば請求書のやりとりなどを『Shelter』上で行えれば、検索や絞り込みの機能が大いに役立つと思うんです。
これもユーザー数無制限で、他社の人も無料でユーザー登録できる『Shelter』ならではの使い方かと。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

interview

使うほどに使い道が広がっていく『Shelter』

―最後に『Shelter』未導入の皆様に向け、先輩ユーザーとしておすすめのコメントをお願いします。

畑:

私たちは『Shelter』によって実際に業務がシンプルになり、効率化・時短を実現できています。
私たちと同じ業種はもちろんですが、他の業種でも同じような効果が出るのではないでしょうか。
そういう意味では、どんな企業にもおすすめできます。
コミュニケーションをとる手段としても、非常に重宝していますね。

坂田:

コツが分かれば自分でどんどんアプリを作ったり、改良できるのが『Shelter』の強味だと思うんです。
通常の業務用アプリケーションは使い方が決まっていますから、アプリケーションの型に合わせるようにやりたかったことをあきらめて、使い道を狭めていかなければならない。
ところが『Shelter』は逆で、自分のやりたいことに合わせて使い方がどんどん広がっていくんです。
サポートも手厚く、導入後も営業担当の方がこまめに連絡をくれます。
他社商品との比較で悩んでいらっしゃる方には、ぜひ『Shelter』をおすすめしたいですね。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

interview

導入事例インタビュー

株式会社メディケア・リハビリ様

「介護の総合事業」を掲げ、大阪府を中心に幅広く介護・療育事業を展開される株式会社メディケア・リハビリ様は、2021年２月から『Shelter』を導入いただいています。
まだ途上段階にあった業務のデジタル化を『Shelter』導入により一気に推進し、高い効率化とコスト削減を実践されています。
本稿では特に『Shelter』の導入と日々の活用に深く関わられている、職員３名の方々にお話を伺いました。

常務取締役・
機能訓練本部本部長
米永憲司様

事業企画本部
管財部部長
中野博光様

管理本部
企画広報部部長
岡村智美様

ハートケア グループ

株式会社メディケア・リハビリ

創立
1990年（平成2年）6月1日
事業内容
訪問看護、居宅介護支援事業、委託事業、児童発達支援事業、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援事業、居宅訪問型児童発達支援事業、通所介護事業、
有料老人ホーム事業、訪問介護、旅行事業、研修会事業
従業員数
937名（グループ全体）2021.8現在

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

業務デジタル化にあたりコスト面で障壁が

— そもそも、『Shelter』のような業務効率化ツールの導入を検討し始めたきっかけを教えてください。

岡村（以下敬称略）：

当社はグループで５つの法人を持っており、特に各法人の契約書の管理業務などは煩雑を極めます。『Shelter』導入までは社内業務のデジタル化があまり進んでおらず、オフラインの表計算ソフトで契約書を管理していたところ、ある日、契約更新日を見過ごしてしまうミスが発生しました。

人間が行なう作業である以上ミスが発生するのは当然のことなので、ではシステムから見直そうということで、全社で利用できるアプリケーションの導入を検討し始めました。

— 結果的に『Shelter』導入に至った経緯はどのようなものでしたか？

岡村:

当社の一部部署で導入していた『Shelter』と同種の別アプリを、全社で導入しようか…という話もありましたが、そちらはユーザー数が増えると月額利用料が増える料金形態だったんです。

従業員が900名以上いる当社グループでは、この料金形態だとコストがかさみ過ぎてしまうんですね。

そんな中、ブルーテック株式会社さんのグループウェアを以前から導入していた関係で『Shelter』を紹介していただきました。

使いやすいし、機能と業務内容を照らし合わせてもやりたいことはほぼできる、さらにユーザー数がどんなに増えても月額料金は固定ということで、『Shelter』に決めました。

米永:

私は最初、その別アプリをかなりいじっていて、行けるんじゃないかと思っていたんです。でも『Shelter』の方もいじってみた結果、コスト面はもちろんですが使いやすさについても『Shelter』が勝ると思いました。

『Shelter』は多くの情報が１つの画面に集約されていて、マウスや画面をあちこちに動かすことなくコンパクトな動作でアプリ制作ができるんです。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

書類提出・管理業務・共有議事録……幅広い業務を『Shelter』で

― 現在、実際にどのような業務で『Shelter』を活用されているのでしょうか。

中野:

私たち管財部は、社内の建物、車両、PC、備品等の資産管理を行なう部署です。グループ各社から建物、車両、PC、備品等に関して、修理依頼や不具合の報告が集まってきます。

こうした情報収集は今まで紙での手渡し、またはファックスで行なっていました。

集まってきた修理依頼について、依頼者からいつ問い合わせがあるかも分かりませんので、私は数十枚の修理依頼書を常に鞄に入れて持ち歩いていたんです(笑)。

今は依頼者が直接『Shelter』に入力する形になりました。情報収集の方法が一元化できるうえ、紙を使わないので依頼も部内の情報共有も高速化します。スマホやタブレットで外部からも閲覧できるため、紙を持ち歩く必要もなくなりましたね。

岡村:

私の知る限りでは、総務部でも契約管理、災害備蓄品の管理、全職員のユニフォーム管理、ブログの管理などで『Shelter』を活用しています。

特に契約管理や災害備蓄品管理などは「期限」を意識する必要があるのですが、『Shelter』では期限が近づくと自動でアラートを表示してくれるので、みんな大変助かっていますね。

米永:

他にも施設の利用者さん１人１人の健康状態の管理や、行政提出書類の作成、コロナワクチンの接種状況の管理などなど…いろいろな業務で『Shelter』を活用しています。

私個人としては、役員会議の議事録を残すために使っていますね。会議で話された内容というのは、１週間もすると忘れられてしまうこともたくさんありますよね。でもこの役員会議の議事録は役員のみんながいつでも閲覧できるようになっていて、議題となったそれぞれの案件の進捗も管理できるようになっています。

しかも私しか編集も削除もできないようにしていますので、話された内容が失われることはありません。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

interview

職員の意識に変化 一気に進んだデジタル改革

— 『Shelter』導入前と後で、社内に変化は見られましたか？

中野:

まず、職員の意識が変わった実感はあります。『Shelter』を導入してから、業務のデジタル化を受け入れる土壌が全社的に広がりました。
職員おのおのが自身の業務をデジタル化しようという動きも見られるようになり、『Shelter』の使い方について質問をしてくる職員も出始めています。
それもやはり、プログラム知識を必要とせず、誰でもアプリを自作できるという『Shelter』の手軽さゆえかと思いますね。

米永:

介護業界というのは、デジタルが苦手で紙への出力を好む人が多いように思うんです。私は以前からそうした状況を変えたい、社内の紙をすべてなくしたいと考えていて、一人で『Shelter』をいじりまくっては社内で普及活動をしています(笑)。「何か困ったことはない？」と聞いて回っては、すぐにアプリ化して渡していて…。
その甲斐あってか今、社内業務はどんどんデジタル化していますし、ペーパーレス化も進んでいますね。
介護職ではデリケートな個人情報を取り扱うことも多々あるので、ペーパーレス化によって流出や紛失のリスクが激減したのは大きな成果ですし、プリントアウトのコストも削減できています。

岡村:

それから、やはり当社でもコロナ禍以降テレワークを導入しているのですが、紙に依存した業務だとテレワークに対応できないものも多くあります。その点、『Shelter』でアプリ化できた業務はテレワークにも完全対応できるので、働き方改革にもつながっていると思いますね。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

interview

一歩踏み出せば大きな変化が…コスト面でもあらゆる企業におすすめ

— 『Shelter』導入を検討されている企業の皆様に向けて、実際に使っておられる皆様から一言、お願いします。

米永:

そもそも『Shelter』のような、アプリを自作できるデータベース型プラットフォームというのは、ちょっととっつきにくいジャンルだと思います。「なんだか難しそうだな…」と思ってしまう人がいるのは当然ですよね。
でも、勇気を出して一歩踏み出すと、今までとまったく違う世界が見えてくるということは皆さんにお伝えしたいです。『Shelter』をくわしく知った分だけ「業務効率化」というご褒美が待っているんですよ。
既成のアプリを導入するというのも手ではありますが、そうするとどうしてもかゆいところに手が届かない。やはり自社の業務内容に沿ったカスタマイズが自分でできるというのが重要なポイントです。
実際当社では『Shelter』によってかなりの効率化が実現できていますし、先日職員たちに冗談で「やっぱり『Shelter』をやめて、紙に戻してみようか？」と言ったら、青ざめて「いやいや、勘弁してくださいよ」と(笑)。現場でもそれほどのメリットを享受できています。

中野:

私はやはり、コスト面でのメリットも大きいと思いますね。
実は自身の部署で何年も前から業務効率化アプリを導入したいと上申していたんですが、やはりコスト面で却下されていました。
というのもユーザー１人につきいくら…という料金形態のアプリがほとんどで、当社の約900人の職員全員で使うとなると、例え１ユーザーにつき500円だとしても毎月45万円、年間540万円というコストがかかってしまいます。
『Shelter』なら何人で使っても月額料金は定額ですから、気兼ねなく全社で利用することができますよね。
今後はこうしたメリットを活かして、全社員が必ず関係する業務も積極的にデジタル化していければいいなと思っています。
当社と同じように、人数が多いためにデジタル化を躊躇している企業様にはぜひ『Shelter』をおすすめしたいですね。

岡村:

そうですね。実際、年に１度全職員が紙で提出している書類もあるんです。そうしたものこそ『Shelter』でアプリ化すれば、紙は大幅に削減できるんですよね。コスト面での効果は企業にとって本当に大きいと思います。
コストカットはどんな企業でも課題になるところでしょうから、１度『Shelter』を試されるといいかもしれません。
職員からも「使いやすい」「便利」と好評の声が届いていますよ。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

casestudy

『Shelter』活用実例

Shelter活用実例①

《制度上必要な書類のペーパーレス化と管理》

利用者の基本情報を記載する書類。
介護保険上、必要な各種書類を管理している。

フェイスシート

事前訪問: 2021/4/2
開始日: 2021/4/12
記録者: テスト

リハビリプラザ交野

□ 介護給付 □ 予防給付

ふりがな	てすと	年齢・性別		生年月日	2021/4/8
氏名	テスト 様	100	男	要介護度	要介護1
認定日	2021/4/1	保険者	テスト	被保険者番号	0123456
有効期間	2021/4/1 ～ 2022/4/1				
住所	123456 大阪府 池田市 テスト	電話番号	テスト		
居宅介護支援事業所	テスト (ケアマネジャー) テスト	TEL	0123	FAX	456
緊急連絡先1 (キーパーソン)	氏名 テスト	続柄	テスト	携帯	0113456
	住所 テスト			TEL	123456
緊急連絡先2	氏名	続柄		携帯	
	住所			TEL	
家族構成		かかりつけ医	主治医	TEL	
		テスト	テスト	テスト	

■食事 自立
■食事形態 普通食 テスト
■食器類 箸 滑り止めマット
■自助具 テスト
■食事好み テスト
■アレルギー テスト
■義歯 なし
■口腔乾燥 なし
■歯磨き 自立
■嚥下チェック
☑ 困難あり
☑ 食事中・食後のむせ
☑ 痰の絡み・よだれ
☑ 飲み込みにくいことがある
☑ 食後に声が変わる
☑ 食べ物をよくこぼす
☑ 食事時間が延びた
☑ 食べ物が口に残る
□ 苦にが苦のようなものあり
□ 食事量・好みに変化

■服薬 朝
■服薬(昼食時) 食前
■薬剤情報 あり

■健康状態
・脳梗塞 ・脳出血 ・認知症 ・パーキンソン病 ・糖尿病 ・心臓病 ・肝炎(B・C) ・腎臓病 ・高血圧
・骨粗鬆症・頚椎症 ・腰椎症 ・膝関節症 ・脊柱管狭窄症

■平常時血圧 100 / 100

■感染症 なし
テスト

利用情報

利用曜日
☑ 月 ☑ 火 ☑ 水 ☑ 木 ☑ 金 □ 土
利用時間 ☑ 食事 ☑ おやつ ☑ 入浴

自宅付近見取り図

駐車位置

送迎注意事項

居宅での生活状況確認(ADL)

■室内移動 見守り
補助具 テスト
■外出 自立
補助具 テスト
■立位保持 自立
■排泄 自立
テスト
■入浴 自立
一般浴
■着替え 自立
■聴覚 可能
■補聴器 なし
■発語 可能
■理解力 問題ない
■記憶力 時々わからなくなる
■わからない 時間・場所・季節
■徘徊 まったくない
■幻覚や妄想 まったくない

居室状況

■趣味 テスト
■性格 テスト

■その他特記事項
テスト

ハートケアグループ
2021.2 通所介護部 第3版

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

casestudy

『Shelter』活用実例

Shelter活用実例②

《備品の修理依頼・不具合報告》

各営業所からの、建物、車両、PC、備品等に関する修理依頼・不具合報告を『Shelter』で一元管理。

	管理No.	枝番	依頼者	施設種類	営業所	依頼日(入力日)	対応者	種別	①建物設備場所	①建物設備対象	②備品	③通信場所	③通信対象	④その他場所	④その他対象	詳細内容	状態
☐	2021/05/13	01		B：在宅	たじはや	2021/05/13		①建物設備	浴室	手すり						浴室内に手すりを1か所設置希望あり。	管財部対応済
☐	2021/05/18	06		C：訪看	PARCあしや	2021/05/18		②備品			メンテナンス					エアコンの掃除をお願いします。	業者対応済
☐	2021/05/11	02		B：在宅	大東深野	2021/05/10		③通信				ディフロア	電話			電話の子機が充電できなくなったので修理をお願いします。	管財部対応済
☐	2021/05/11	03		A：施設	大東	2021/05/11		②備品			メンテナンス						業者対応済
☐	2021/05/13	08		A：施設	傑徳道	2021/05/13		④その他						物品移動		の引き上げをお願いします。	管財部対応済
☐	2021/05/18	02		A：施設	門真	2021/05/18		④その他						物品移動		相談室の物品を引き上げてほしい。	管財部対応済
☐	2021/05/13	04		A：施設	傑徳道	2021/05/13		②備品			修理					車椅子　タイヤ部分破損　修理お願いします。	業者対応済
☐	2021/05/21	01		B：在宅	藤井寺南	2021/05/20		②備品			その他					リハビリプラザ藤井寺　本日血圧計が到着したと報告がありました。 古い分の血圧計の回収と処分をお願いいたします	管財部対応済
☐	2021/05/19	02		A：施設	伊賀	2021/05/19		②備品			修理					事務所のエアコンから水が漏れています。	業者対応済
☐	2021/05/18	03		D：本部・その他	本部	2021/05/18		④その他						物品移動		5/19に自転車を寝屋川～沢田に運ぶ	管財部対応済
☐	2021/05/12	04		A：施設	青蓮荘	2021/05/12		②備品			修理					機械浴のコントローラーが動かない。	業者対応済
☐	2021/05/18	04		A：施設	施設本	2021/05/18		④その他						物品移動		大井倉庫　ID55　キャビネットを施設	管財部対

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

casestudy

『Shelter』活用実例

Shelter活用実例③

《契約管理》

グループ５社の契約書を一元管理。
契約期限前に『Shelter』が自動でアラート通知する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

Shelter 導入事例　『Shelter』ミニ事例集

業務フローの中枢に導入
短期間で業務改革を実現

清掃会社　A社様

ビルや公共施設の清掃を手がけるA社様では、顧客情報の管理から商談管理、物件情報の管理、見積もり、契約管理…と、メイン業務のフロー全体に『Shelter』を導入。
１つ１つの業務の進捗や最新情報が社員全体で共有され、スムーズな連携を実現されました。

営業周りの業務に導入
顧客ナーチャリングにも

害虫駆除会社　Ｂ社様

害虫駆除を請け負うＢ社様では、顧客情報や受注記録、また顧客への訪問アプローチの内容も『Shelter』に記録することで、顧客育成（ナーチャリング）にも活用されています。
まずは営業周りの活動を『Shelter』で効率化し、今後さらなる活用も計画されています。

業務デジタル化の第一歩で
空室管理に活用

ホテル経営　Ｃ社様

業務アプリケーションの導入経験がなかったホテル経営のＣ社様は、業務デジタル化の第一歩として『Shelter』を導入。
部屋の空き状況の管理やダブルブッキングチェック、宿泊料金の計算などに活用されています。

ドライバー管理と車両管理で
アラート機能を活用

運送業　Ｄ社様

運送業のＤ社様では、配送管理の目的で『Shelter』を導入いただきました。
ドライバーに関する免許証や保険証等の管理、また車両に関する配送ルート管理、車検期限の管理等、煩雑な人と車に関する管理を効率化されています。
とりわけ免許証の更新期限や車検の期限切れを自動でアラート表示するように設定し、うっかり失効を防いでいるそうです。

申請書類は『Shelter』で一元管理

医療・福祉会社　E社様

医療・福祉関連のE社様では、各種申請書類の提出や稟議提出、文書回覧などに『Shelter』を利用されています。
多くの社員による承認が必要な書類でも、スマホやタブレットで外出先から対応ができるため、回覧が高速化したと言います。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

Shelter 導入事例　『Shelter』ミニ事例集

他社との連携が多数発生も
低コストで迅速化に成功

人材派遣会社　F社様

プロの技術者を依頼に応じて企業に派遣するF社様。新規事業立ち上げに伴い外部企業とのやりとりが煩雑化し、外部共有無料の『Shelter』導入を決意。
メールでやりとりしていたような情報交換やファイル交換を『Shelter』で行なうようになってからはスムーズな外部連携を低コストで実現されています。

契約書管理に活用し
利便性・検索性が向上

社労士事務所　G事務所様

社労士事務所のG事務所様では、日々膨大な数にのぼる紙の契約書の管理に追われていました。
『Shelter』により契約書管理業務をデジタル化したところ、期限切れを事前に知らせるアラート機能や、必要な情報を広範囲から検索できる機能が高い効果を発揮。
現在、契約書そのもののデジタル化を進めておられます。

人事管理のデジタル化で
多数のメリットを実感

IT関連会社　H社様

多数の社員を抱えるH社様では、人事管理に『Shelter』を活用。
社員台帳に顔写真を添付できたり、部署異動の履歴や賞罰などの詳細な情報を一元管理できるといったメリットを最大限に活かされています。またこうした個人情報は取り扱いがセンシティブなものですが、『Shelter』のアクセス権限設定機能が漏洩防止に役立っているとのことです。

長時間の集計業務が
一瞬で完結

工務店　I社様

代理店を多く持つ工務店I社様では、かつて各店からの受注データや売上データを毎日メールで収集。前日からの差分を職員が洗い出し、表計算ソフトに手入力する…という集計業務を数時間かけて行なっていました。『Sheltar』の導入で業務をオンライン化を推進したことにより、毎日数時間の集計業務そのものが不要に。大幅な効率化を実現されました。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

業務アプリケーション開発プラットフォーム

Shelter

『Shleter』は、欲しいアプリが**自分で作れる**業務効率化ツール。
ユーザー数無制限で、社内でも社外でも、何人でご利用いただいても
月額利用料金は変わりません。
ご紹介した各社様の事例を参考に、**自作アプリで業務改善**してみませんか？

情報の**一元管理**と**共有**で
業務を**高速化**

アプリ一本化や
ペーパーレス化で
コスト削減

業務の**クラウド化**で
テレワークに最適

チームと
クライアントと
みんなで**つながる**

完成済みアプリを選ぶだけ！
今すぐ運用したいなら

Shelter 即効アプリシリーズ

Shelter

お問い合わせ資料請求はこちら

TEL:**03-5405-8111**（土日休日を除く09:00～18:00受付）

Shelter 即効アプリシリーズ

お問い合わせはこちら　**資料請求はこちら**

TEL:**03-5405-8111**（土日休日を除く09:00～18:00受付）

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.